

## 令和 7 年度 第 2 回 学校運営協議会 議事録

校 名	大阪府立桜和高等学校
校長名	田中 愛子

開催日時	令和 7 年 1 2 月 4 日（木） 1 5 時～ 1 6 時 3 0 分
開催場所	大阪府立桜和高等学校 小会議室
出席者（委員）	瓜生 彩子 様 齊部 孝之 様（校長代理） 松原 美佐都 様 関根 幹雄 様 北村 志生 様
出席者（学校）	校長：田中 愛子 教頭（事務局長）：福原 泰一 事務長：平井 克彦 首席：栗本 幸治 首席：渡辺 久丹栄 生活指導部長：明貝 繁樹 進路指導部長：伊藤 達夫
傍聴者	なし
協議資料	令和 7 年度学校経営計画及び学校評価（中間報告）、各部中間報告
備考	欠席一破戸 章 様

議題等
<p>○開会のあいさつ（校長）</p> <p>○令和 7 年度学校経営計画及び学校評価（中間報告）</p> <p>○各部報告</p> <p>○閉会のあいさつ</p>
協議内容・承認事項等（意見の概要）
<p>■【教育活動・学校方針に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AI 活用に対する学校の方針を確認したい。教育的活用だけでなく、不正利用など負の部分への対応策も知りたい。</li> <li>「学校教育自己診断」における否定的回答に対して、どのような改善・フォローを行っているか教えてほしい。</li> <li>年末に実施する 1・2 年生対象の「冬季集中勉強会」について、狙いや教育的意義を知りたい。 →学習習慣の定着や長時間学習への耐性づくりが目的</li> <li>地域として校庭開放をしていただいて大変感謝している。</li> </ul> <p>■【入試・進路に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入試制度が多様化する中で、本校の入試形態の割合について質問があった →一般入試：約 5 割、指定校推薦：約 2 割、公募推薦等：約 3 割</li> <li>面接が得意な生徒が多い背景について質問があり、授業における発表機会の多さや、計画的な面接対策が要因として共有された。</li> <li>遅刻が増加している点について、時間を守る大切さを生徒に伝える必要があるのではないか、</li> </ul>

という意見があった。特に 5～10 分程度の軽微な遅刻や、3 年生の遅刻の多さが課題として挙げられた。

■【生徒指導・学校生活に関する意見】

- 自由な校風は良いが、ハロウィン時のお菓子交換に伴うごみ増加等が懸念されており、マナー・モラル教育の強化を求める声があった（ただし校則を厳しくする意図はないとの意見）。
- 昨年度は定員割れであったが本年度は充足しており、学年差の特徴について質問があった。コロナ禍以降、学校になじめず不登校傾向の生徒が増えていること、通信制高校への進学が増加している現状が共有された。

■【不登校支援・特別ルームに関する意見】

- 中学校より不登校生徒向けスペシャルサポートルームの運用について、専任教員の配置や、登校を目的とした支援の内容が説明された。開設 3 年目を迎え、少しずつ機能し始めている点や、今後の課題等が共有された。

■【委員長まとめ】

- 国際交流の充実、外部との積極的な連携、多様な教育活動が高く評価された。一方で、特定の教員への業務集中の是正や、働き方改革の視点も重要であるとの指摘があった。